

第5回パソコン研修会を開催！

平成23年7月17日（日）城南静岡高等学校にて標記研修会が開催された。この研修会は、静岡県ソフトボール協会（以下、県ソ協）記録委員会の主催で毎年開催されており、今回で5回目を数える。年間スケジュールとしても定着してきたこの研修会には、暑い最中にも関わらず県下各地から30名を超える受講生が集まった。開講に先立ち、齋藤敏雄県ソ協副理事長から「記録員はみんながパソコン入力出来ると思っていたが、技術も経験も必要であることを聞いた。この研修で学んだことを支部へも伝えてほしい。」との激励があり、この言葉にも刺激された受講生たちは、芦澤忠・小黒喜夫両講師の講義に熱心に耳を傾けていた。

この日は、全員がパソコンを持ち込み、プロジェクターの映像を見ながら入力方法などを確認。これまで使用していた『HIBALL』が使えなくなることを見据えた今年の研修では、記録3号・4号の作成や、日本リーグスタートリストの作成、試合の入力、このほかの大会結果の入力方法の紹介など、多岐にわたっての指導がなされた。一人ひとりの進捗状況を確認しながら懇切丁寧に教える進め方に、受講生の中からは「できたー！」「よしっ！」といった声も聞かれ、講師陣も手ごたえを感じたようだった。

芦澤忠県ソ協記録委員長は「ルールを熟知してこそ、パソコン入力が正確に出来る。報告書の作成にあたっては必ず複数人で関わり、プリントアウトしてからの確認を徹底すること。また、支部内でのパソコン担当者の確保に努めてほしい。」と話し、正確さの重要性と今後に向けての課題を強調した。

